

平成 22 年度「高校交通教育の実践」モデル校事業報告書

学校名	兵庫県立三木北高等学校	課 程	全
校長名	安田 邦夫	担当者	梶原 洋一
所在地	〒673-0521 兵庫県三木市志染町青山 6 丁目 2 5 番地 Tel (0794)85-6781 Fax (0794)85-6985		
生徒数	男子 335 名 女子 272 名 合計 607 名		
通学手段	徒歩：100 名 自転車：295 名 電車と徒歩：139 名 バス：18 名 電車とバス：26 名 その他：29 名		
特 色	県中部の三木市東部に位置する全日制普通高校である。27 年前に里山を造成して造られた住宅地の中に位置する。生徒は三木市を中心に周辺都市から通学している。近くに神戸電鉄が走っており、それらを利用している生徒は約 3 割で半数が自転車通学である。中には 1 時間以上要して通学している生徒もいる。自転車専用道路は十分整備されておらず安全面で不安が残る。毎年春に自転車通学生徒を対象に自転車講話および自転車点検を実施している。昨年度通学途中での接触事故が 2 件、また学校周辺は坂道が多いためスピードの出し過ぎなどの危険運転に対する苦情もあり、その都度安全面やマナーについての注意を喚起している。		

1 実施状況

(1) 取組テーマ

「自転車通学における交通安全教育」

目 標：交通安全意識を高め、自転車事故数を減らす。

(2) 取組内容

今年度、交通安全教育として以下の内容を実施しました。～ は、従来から実施していたものをベースに実施。～ は今年度新たに取り組んだものである。

交通安全講話

ア．自転車講話 (資料 1)

実施日：4 月 9 日 (金) 1 学年 全クラス (新入生
オリエンテーションで)

4 月 14 日 (水) 2, 3 年生自転車通学者

生徒指導部の交通安全担当が、自転車通学生に毎年実施。今年度は 1 年生については新入生オリエンテーショ



ンの時間に全員に実施した。

内容は本校で発生した自転車事故事例や自転車走行の規則・マナー、違反者への指導など安全な自転車通学に必要な知識の講話。また、後日実施する自転車点検の説明。

イ．交通安全講話

実施日：7月14日（水） 生徒・保護者・職員向け
地元の三木警察署および三木市交通安全協会から講師を招き実施。まず高校生が自転車事故の加害者になったドラマ「時はもどらない」を視聴し、その後三木市の交通状況や自転車事故例、安全な自転車走行についての講演。また、自転車事故で加害者になった場合、多額の賠償金が請求されることに触れ、自己責任の重大さを考える機会とした。



自転車点検 1～3年の自転車通学生対象

実施日：4月23日（金） 5月12日（水）放課後
生徒指導部と学年が協力して自転車通学生に対して自転車の点検を実施。具体的な点検項目として、ベル、反射板、ゴムひもが備わっているか。また、実際に走行してブレーキの制動やライトの点灯を点検。合格者に対して自転車通学許可の鑑札を渡す。



登校指導

実施日：春、秋の交通安全運動期間中および2ヶ月に1回
実施（4，7，9，11，2月実施）

今年度は育友会と合同で、朝の登校時に実施。交差点やハザードマップで明らかになった危険ポイントを中心に職員、保護者が一緒に立ち、生徒の交通マナーや服装等の指導を行った。



ハザードマップの作成および青志祭での展示

5月に実施した交通安全アンケートで、自転車事故やヒヤリハット体験をした危険場所を地図上に記入。それらをもとに1年生がハザードマップにまとめて青志祭（本校の文化祭）に展示した。作成に際し実際に危険個所に行き、どのような危険があるかを確認し、写真撮影を行った。また、三木警察より最近の自転車事故の発生場所を教えてもらい、それらも参考に作成した。

作成したハザードマップは、青志祭で展示。また、同時に交通クイズを実施し、小学生や来校者に交通安全の啓発活動を行った。



交通安全 HR

各学年が HR の時間を使って自転車についての交通安全教育実施。(資料 2)



- 1 学年 自転車の安全な乗り方と救急法を組み合わせ実施。
DVD「自転車事故を知る」を見て、どのようにして自転車事故が発生するのかを学習した。また、高校生が事故の加害者になった DVD を見せ、加害者になった場合精神的に苦しむだけでなく多額の賠償金が生じることを学習した。また、自分が事故にあったときや事故に遭遇した時の対応法や救急法について学習した。
- 2、3 学年 CD『Safety Action 21 9 . 違反や事故が将来あなたの人生設計に影響を与える』の指導案に沿って、ワークシートを使って交通違反や交通事故の刑罰を学習する。職業によっては違反や事故で将来仕事に就けない場合があることを知り、今だけでなく将来にわたって影響があることを理解し、交通安全に気をつけるように指導する。ほとんどの生徒は、刑罰によって就けない職業があることを初めて知った。
- 3 学年 CD『Safety Action 21 8 . 事故にあったらどうする。事故を見たらどうする』の指導案に沿って、ワークシートを使って事故を見たり遭遇した時の対応を班ごとに話し合った。正解数を班ごとに競わせたので、生徒は積極的に参加できた。生徒の中には車との接触事故を起こしてもうまく対処できずに、加害者に逃げられてしまった場合もあり、事故遭遇時の対応を学習しておくことは必要である。

交通安全アンケート調査・分析(資料 3)

5 月の LHR または総合的な学習の時間に実施。通学手段、通学実態の把握および危険箇所を地図上に記入し、危険ポイントの把握する。危険ポイントは 1 年生がまとめてハザードマップを作成し、6 月の青志祭で発表した。

学期ごとに(7, 12, 3 月の定期考査後)交通安全アンケートを実施し、生徒の登下校における実態、事故やヒヤリハット体験の回数・内容を把握する。風紀委員がアンケートを整理し、結果を生徒にフィードバックした。通学実態の把握とともに交通安全教育の効果を確認し、次学期につなげた。

3 学期末のアンケートは、まだ実施していないので 2 学期末のアンケート結果より

ア．交通規則・マナーを守る生徒は増加し、交通安全意識は着実に高まっている。

5 月のアンケート結果と比較するとすべての項目にわたって規則やマナーを守る生徒は増加している。

イ．自転車事故や交通事故の報告は氷山の一角

事故数やヒヤリハット体験は、報告されている事故数(今年度 11 件)を大きく上回っている。

5 人に 1 人が歩行者との接触事故やヒヤリハット体験

8人に1人が自動車との接触事故やヒヤリハット体験

対歩行者接触事故	4.9% (18名)	ヒヤリハット体験	15.6% (58件)
合計	20.5% (76名)		
対車接触事故	4.6% (17名)	ヒヤリハット体験	9.2% (34名)
合計	13.8% (51名)		

ウ．自転車の自賠償保険に加入状況は今後の課題

加入している	30.7%	38.3%
加入していない	14.1%	8.9%
不明	53.3%	52.8%

2 成果と今後の課題

当初の目標である交通安全意識を高めることは交通安全アンケート結果より確認された。一方、自転車事故数を減らすということは達成できなかった。今年度報告された自転車事故は2月現在で11件である。昨年度の2件に比べて大きく増加している。

(1) 成果

交通安全のアンケート結果および登校指導の観察などから、交通規則やマナーを守り安全走行をする生徒が増加し、交通安全意識は高まった。

自転車の交通安全アンケートを実施したことによって、生徒の実態を知ることができ、報告されていない事故やヒヤリハット体験が多いことが分かり、今後の交通安全教育を進める参考になった。

HR等で交通安全教育を実施した。従来実施していなかったため、今年度実施したことは1つの成果。

育友会と合同で登校指導を実施した。

(2) 今後の課題

12月のアンケートでもまだまだ交通規則やマナーを守っていない生徒がいる。交通規則やマナーを守る行動がとれるように引き続き指導していくことが必要。

交通安全教育の継続

今回実践モデル校に指定されことにより実施した内容について、次年度以降必要なものは継続し、新たに加えることによってより充実した交通安全教育を続けていきたいと考えている。

生徒会を中心とした交通安全活動の実施

生徒の活動として、生徒会風紀委員会を中心とした朝の挨拶運動で交通安全の啓発活動など交通安全活動の取り組みを検討した。

時間に余裕ある登校指導

報告されている自転車事故数11件中8件は登校時に発生。安全確認を怠らないよう5分前登校など余裕のある登校を指導。

自転車通学生に、できるだけ自賠償保険に加入することを勧める。

自転車講話

高校生の自転車乗車中の交通事故は登下校の時間帯に多発しています。本校もその例外ではありません。単なる経験や勘に頼るのではなく自転車に関係した法規を理解し、「すこしぐらいなら…」とか「他の人がやっているから…」とかいった安易な気持ちはつつしみ安全な乗り方を身につけなければなりません。昨年度、本校は2件の事故報告が届いています。どちらも命に関わる事故でなかったのですが、大きな怪我をしました。昨年度は、被害者となる事故報告だけでしたが、加害者になる可能性もありますので、安全に自転車通学をするために、今から話すことをよく理解し、安全に自転車に乗るようにしてください。

- ◎ 自転車に乗る準備として、
 - ・安全装置（ブレーキなど）は常に点検して、整備不良車には乗らない。
 - －整備不良は、大きな事故の元になりますので、点検は常に行うこと。

 - ◎ 自転車で通学するにあたって、
 - ・自転車は、車道が原則、歩道は例外です。
 - －自転車は、軽車両です。したがって、車道通行が原則です。歩道通行ができるのは、
 - 1) 道路標識等で指定された場合
 - 2) 車道または交通の状況からみてやむを得ない場合
 - ・車道は、左側を通行する。
 - ・歩道を通行する場合は、歩行者優先で、車道寄りを徐行すること。
 - －歩道は、歩行者が通行するところですので、通行する際、すぐに停車できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。

 - ◎ 自転車で下校するにあたって、
 - ・帰宅する際、ライトの点灯を必ずすること。
 - －ライトは、自分の命を守るためのものです。ライトを点灯し、自分の存在を他者にわかってもらうためにも、必ず点灯してください。特に、本校の場合、制服が黒・紺ですので、相手に自分の存在がわかってもらいにくいのです。ですから、必ず点灯するかを、点検するようにしてください。それと同時に、反射板を必ずつけ、後ろからも自分がいることをわかってもらえるようにしてください。
- ※ライト点灯推奨時間（4月～9月 午後5時・10月～3月 午後4時）
- ◎ 自転車を乗るにあたっての禁止事項
 - ・自転車での並進（2台が並んで通行すること）は、禁止です。
 - －道路に広がって自転車に乗っていると、歩行者や車の迷惑になります。2万円以下の罰金又は科料の罰則があります。
 - ・自転車での二人乗りは、禁止です。
 - －自転車での二人乗りは、極めて危険な行為です。絶対にしないようにしてください。バランスのとりにくさ、停止までの距離など

大きな事故につながる危険があります。

2万円以下の罰金又は料金の罰則があります。

- ・必ず信号を守りましょう。
 - －大きな事故の原因になります。
 - ・交差点での一時停止と安全確認を必ず行うこと。
 - －信号のない交差点では、注意しすぎるぐらい、左右確認を行うこと。
 - これを守らないと大きな事故の原因になります。
 - ・傘さし運転は、絶対にしない。
 - －傘をさしながらの運転は、バランスをとりにくく、視界も狭くなり、たいへん危険です。
 - 雨の日に自転車に乗る際は、雨合羽を着て、登下校するようにしてください。

 - ・自転車に乗りながら携帯電話を使用しない。
 - －携帯電話を運転中に使用することは、注意力の低下につながり、大きな事故の原因になります。絶対に使用しないようにしてください。
 - ・自転車に乗りながらヘッドホンで音楽を聴かない。
 - －音楽を聴きながらの運転は、周りの音が聞こえにくいので、大きな事故の原因になります。絶対に使用しないようにしてください。
- ※どちらも道交法に基づいて罰金5万円以下が科せられます。
また、どちらも学校への持込みが禁止されていますので、登下校中に使用することはないと思いますが、普段の日にこのような行為をしながら、運転しないようにしてください。

◎ 自転車点検について

- ・自転車点検は、4月23日（金）と5月12日（水）に実施します。
- ・点検事項：ブレーキ、ライト、ベル、反射鏡（反射テープ）、荷台、荷台の紐
変形ハンドル、その他の整備不良等
- ・鑑札代：200円（お釣がないように持ってきてください）

最後に、登校の際、時間に余裕を持ち、ゆとりをもって自転車に乗れるように、心がけてください。朝、5分早くでるだけでも、余裕ができます。たった5分で命を守れますので、余裕を持った行動を心がけてください。

高校生自転車事故は、6～7月に最も多く、次いで11～12月に多発しています。この時期は、「通学に慣れてきた時期」にあたり、運転中の注意力が低下していることが、原因であると思われます。慣れてきたときほど、気を引き締め、事故にあわないように注意をし、安全運転を心がけ、登下校するようにしてください。

交通安全H. R学習 指導案(第1学年)

自転車事故の現状と事故に遭遇した時の対応について			
指導のねらい		1. 自転車事故の現状を知るとともに交通ルールやマナーについて確認し、交通安全意識を養う。 2. 自転車事故で加害者になった時の責任を理解できるようにする。 3. 事故現場に遭遇した時の対応の仕方、救急法について理解できるようにする。	
準備		DVD「自転車事故を知る」、「救急法」	
段階 時間	指導事項	学習活動	指導上の留意点
導入 5分		・DVDのチャプター1を視聴し、学習の流れを確認する。	毎日約440人が自転車事故で死傷し、死傷者の3割以上が19歳以下であることを知り、自分たちの問題であることに気付かせる。
展開 40分	1. 自転車事故例と交通 " " " 2. 加害者としての責任 3. 事故現場ですること 4. 心肺蘇生、AEDの使用法	・チャプター2の事故ケース1, 2を視聴する。 ・チャプター2のその他の事故例を視聴する。 ・チャプター2の自転車安全利用の5原則を視聴する。 ・チャプター3の加害者の責任を視聴する。 ・心肺蘇生法について説明する。 ・ワークシートで素早い心肺蘇生が命を救うことを気付かせる。 ・ビデオでAEDの使用法を視聴する。	・事故原因を考えることによって交通ルールを守ることの大切さを理解させる。 ・自転車の違反・事故のリーフレットを見て、交通違反と罰則を理解させる。 ・交通ルールを確認し、自転車の安全利用の5原則を理解させる。 ・加害者が負うべき責任が3つあることを知り、その重さに気付かせる。 早い段階での心肺蘇生が命を救うのに大切であることを理解させる。 ・プリントを配布して、補足説明 ・AEDの手順と注意点を理解させる。
まとめ 5分		・事故を起こさないためには何が 必要か。また、事故に遭遇した 時にどう対応するか。	・交通ルールを守ることによって事故を未然に防ぐことを再確認させる。 ・もしもの場合に備えて救急法の知識、技術を持つことが必要であることを再度確認させる。また、人の命を救うために傍観者となるのではなく、一歩踏み出す勇気を持つことの大切さを理解させる。

第3回 自転車の交通安全に関する調査

	28回生	27回生	26回生	全校生
男	112	105	95	312
女	71	86	102	259
不明	3	0	0	3
	186	191	197	574

I 1・2学期の自分の体験・経験を振り返り、以下の質問に対して、記号で回答するものは記号で回答し、記述で回答するものは記述で回答しなさい。

1 あなたは、登下校または普段、自転車に乗りますか。

① 乗る

①	120	129	122	371
	64.5%	67.5%	61.9%	64.6%
②	66	62	75	203
	35.5%	32.5%	38.1%	35.4%

② 乗らない

2 あなたの通学手段は何ですか。⑥を選んだ人は、回答用紙に通学手段を書きなさい。

① 自転車(家～学校)

①	85	90	83	258
	70.8%	69.8%	68.0%	69.5%
②	18	16	16	50
	15.0%	12.4%	13.1%	13.5%
③	8	4	6	18
	6.7%	3.1%	4.9%	4.9%
④	4	4	7	15
	3.3%	3.1%	5.7%	4.0%
⑤	4	11	9	24
	3.3%	8.5%	7.4%	6.5%
⑥	1	2	1	4
	0.8%	1.6%	0.8%	1.1%
無回答	0	2	0	2
	—	1.6%	—	0.5%

② 自転車(家～駅・バス停)

③ 自転車(駅・バス停～学校)

④ 公共交通手段(バス・電車など)

⑤ 徒歩

⑥ その他

3 1・2学期の間に、自転車のメンテナンスをしましたか。

① メンテナンスをした

①	69	56	59	184
	62.2%	50.9%	56.2%	56.4%
②	39	48	43	130
	35.1%	43.6%	41.0%	39.9%
③	2	5	2	9
	1.8%	4.5%	1.9%	2.8%
無回答	1	1	1	3
	0.9%	0.9%	1.0%	0.9%

② メンテナンスをしていない

③ 自転車を変えた

4 3で③と答えた人は、なぜ自転車を変えたのですか。④を選んだ人は、回答用紙に理由を書きなさい。

① 故障したから

①	2	4	1	7
	100.0%	80.0%	50.0%	77.8%
②	0	0	1	1
	—	—	50.0%	11.1%
③	0	0	0	0
	—	—	—	—
④	0	1	0	1
	—	20.0%	—	11.1%

② 事故に遭って修理できなかったから

③ 盗難にあったから

④ その他

5 4で③と答えた人は、どこで自転車を盗られましたか。③を選んだ人は、回答用紙にふどこで盗難にあったかを書きなさい。

① 学校

①	0	0	0	0
	—	—	—	—
②	0	0	0	0
	—	—	—	—
③	0	0	0	0
	—	—	—	—

② 駅の駐輪場

③ その他

6 1・2学期の間に自転車に関する保険に加入しましたか。

① 以前から加入していた

①	53	36	35	124
	47.7%	32.7%	33.3%	38.0%
②	0	0	1	1
	—	—	1.0%	0.3%
③	5	8	16	29
	4.5%	7.3%	15.2%	8.9%
④	51	65	46	162
	45.9%	59.1%	43.8%	49.7%
無回答	2	1	7	10
	1.8%	0.9%	6.7%	3.1%

② 2学期中に加入した

③ まだ加入していない

④ 加入しているか確認していない

7 1・2学期を振り返って、一時停止の場所で停止しないことがあった。

① 以前から停止するようにしている

①	83	91	98	272
	69.2%	70.5%	80.3%	73.3%
②	11	12	4	27
	9.2%	9.3%	3.3%	7.3%
③	26	24	20	70
	21.7%	18.6%	16.4%	18.9%
無回答	0	2	0	2
	—	1.6%	—	0.5%

② 2学期から停止するようになった

③ 未だに停止していない

8 1・2学期を振り返って、信号を守らずに道路を横断することがあった。

① 以前から信号を守るようにしている

①	96	102	102	300
	80.0%	79.1%	83.6%	80.9%
②	10	9	9	28
	8.3%	7.0%	7.4%	7.5%
③	14	17	11	42
	11.7%	13.2%	9.0%	11.3%
無回答	0	1	0	1
	—	0.8%	—	0.3%

② 2学期から信号を守るようになった

③ 未だに信号を守らない

9 1・2学期を振り返って、道路の右側を通行することがあった。

① 以前から左側通行をしている

①	73	73	82	228
	60.8%	56.6%	67.2%	61.5%
②	13	13	3	29
	10.8%	10.1%	2.5%	7.8%
③	32	42	36	110
	26.7%	32.6%	29.5%	29.6%
無回答	2	1	1	4
	1.7%	0.8%	0.8%	1.1%

② 2学期から左側通行をするようになった

③ 未だに右側を通行している

10 1・2学期を振り返って、友人と会話をしながら、並進走行することがあった。

- ① 以前から並進走行をしていない
- ② 2学期から並進走行をしないようになった
- ③ 未だに並進走行をしている

①	50	60	65	175
	41.7%	46.5%	53.3%	47.2%
②	24	19	10	53
	20.0%	14.7%	8.2%	14.3%
③	43	48	43	134
	35.8%	37.2%	35.2%	36.1%
無回答	3	2	4	9
	2.5%	1.6%	3.3%	2.4%

11 1・2学期を振り返って、道路の真ん中を斜めに横断したことがあった。

- ① 以前からしていない
- ② 2学期から斜め横断をしないようになった
- ③ 未だに斜め横断をしている

①	58	66	75	199
	48.3%	51.2%	61.5%	53.6%
②	13	10	8	31
	10.8%	7.8%	6.6%	8.4%
③	49	52	39	140
	40.8%	40.3%	32.0%	37.7%
無回答	0	1	0	1
	—	0.8%	—	0.3%

12 1・2学期を振り返って、傘さし運転をすることがあった。

- ① 以前からしていない
- ② 2学期に指導を受けて、しないようになった
- ③ 未だにしている

①	114	120	115	349
	95.0%	93.0%	94.3%	94.1%
②	3	3	2	8
	2.5%	2.3%	1.6%	2.2%
③	3	5	5	13
	2.5%	3.9%	4.1%	3.5%
無回答	0	1	0	1
	—	0.8%	—	0.3%

13 1・2学期を振り返って、二人乗りをすることがあった。

- ① 以前からしていない
- ② 2学期に指導を受けて、しないようになった
- ③ 未だにしている

①	103	105	109	317
	85.8%	81.4%	89.3%	85.4%
②	6	5	2	13
	5.0%	3.9%	1.6%	3.5%
③	11	18	11	40
	9.2%	14.0%	9.0%	10.8%
無回答	0	1	0	1
	—	0.8%	—	0.3%

14 1・2学期を振り返って、携帯電話を使用したり、ウォークマンで音楽を聴きながら自転車を運転することがあった。

- ① 以前からしていない
- ② 2学期に指導を受けて、しないようになった
- ③ 未だにしている

①	78	93	89	260
	65.0%	72.1%	73.0%	70.1%
②	5	2	5	12
	4.2%	1.6%	4.1%	3.2%
③	37	33	28	98
	30.8%	25.6%	23.0%	26.4%
無回答	0	1	0	1
	—	0.8%	—	0.3%

15 1・2学期を振り返って、夜間に自転車に乗る際、無灯火で運転をしたことがあった。

- ① 暗さを感知するタイプのライトなのでなかった
- ② 手動式のライトであるが、無灯火運転はしなかった
- ③ 手動式のライトで面倒だからライトを点けなかった
- ④ ライトが故障していて点けることができない

①	94	97	81	272
	78.3%	75.2%	66.4%	73.3%
②	15	25	27	67
	12.5%	19.4%	22.1%	18.1%
③	4	4	8	16
	3.3%	3.1%	6.6%	4.3%
④	6	2	5	13
	5.0%	1.6%	4.1%	3.5%
無回答	1	1	1	3
	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%

16 1・2学期を振り返って、歩道を走行中、歩行者と衝突する、もしくはしそうになったことがあつ

- ① 衝突した
- ② 衝突しそうになった
- ③ 危険なことはなかった

①	7	2	9	18
	5.8%	1.6%	7.4%	4.9%
②	11	28	19	58
	9.2%	21.7%	15.6%	15.6%
③	101	94	94	289
	84.2%	72.9%	77.0%	77.9%
無回答	1	5	0	6
	0.8%	3.9%	0.0%	1.6%

17 どのような状況で衝突(接触)する、もしくは衝突(接触)しそうになったのですか。

- ① 友人と会話に夢中になっていたから
- ② 脇見運転をしていたから
- ③ その他

①	4	3	7	14
	22.2%	10.0%	25.0%	18.4%
②	6	10	9	25
	33.3%	250.0%	150.0%	138.9%
③	7	16	9	32
	38.9%	53.3%	32.1%	42.1%
無回答	1	1	3	5
	5.6%	3.3%	10.7%	6.6%

18 1・2学期を振り返って、事故やヒヤリハット体験(歩行者との衝突は含まない)があつた。

- ① 事故に遭った
- ② ヒヤリハット体験をした
- ③ 何もなかった

①	5	5	7	17
	4.2%	3.9%	5.7%	4.6%
②	6	8	20	34
	5.0%	6.2%	16.4%	9.2%
③	105	110	95	310
	87.5%	85.3%	77.9%	83.6%
無回答	4	6	0	10
	3.3%	4.7%	—	2.7%

- 19 18で①・②と答えた人は、どのような事故・ヒヤリハット体験がありましたか。
- ・ 歩行者の信号が青であったが、赤信号で止まるはずの車が急に曲がってきた。
 - ・ 協和病院から押部谷方面に帰る途中の坂で、電柱に当たりそうになった。
 - ・ 横から一時停止しないで人が飛び出してきた。
 - ・ 道路を横切っているときにもう少してひかれそうになった。
 - ・ 学校の近くで、他校の生徒と当たって、転倒した。
 - ・ 自由が丘小学校の十字路で軽トラと衝突した。
 - ・ 北高から緑が丘のコープまでの道(十字路)で、よく車がすごいスピードで飛び出してくるので、ぶつかりそうになった。
 - ・ 木幡駅の近くで、下を見ながら運転していると、老人とぶつかりそうになった。
 - ・ 家の前を通ったとき、駐車場から車がいきなり出てきてビックリした。
 - ・ 大きい道路を通っていたら、細い道から二人乗りをしているバイクが飛び出してきた。
 - ・ 下り坂を走っているとき、車が急に出てきて、ブレーキをかけようとしたら、壊れていて、ヒヤリハット体験をした。
 - ・ 押部谷の業務スーパーの前の坂のところ、車にひかれそうになった。
 - ・ 自転車どうして正面衝突をした。
 - ・ 喫茶店「まみむめも」の駐車場に減速をせず入ってきた車と衝突しそうになった。
 - ・ 坂道を下っていて、ブロックに乗り上げ、転倒した。
 - ・ 自由が丘の五叉路で、車が凄い速度でカーブを曲がってきた。
 - ・
- 20 1・2学期を振り返って、印象に残っている交通安全教育は何かありましたか。
- ・ 自転車事故が怖いものを知った。
 - ・ DVDを見たこと。
 - ・ 事故に遭ったときに何をすればいいかわかった。
 - ・ 事故の原因が身近なものが多いことを知った。
 - ・ 先生の話。
 - ・ 警察の方の話。
 - ・ 自転車事故であっても、大怪我をさせたり、死亡させてしまったりする怖さを知った。
 - ・ 安全な運転をする必要があると再確認できた。
 - ・ 事故によって、大きく人生が変わってしまうので、自転車に乗るときは、気をつけようと思いました。
 - ・ いつ事故が起こってもおかしくないということがわかった。
 - ・ 先生が通学路に立っていて、気をつけようと思った。
 - ・ 気をつけないと、自分も怪我をすることがあると知った。
 - ・ 二人乗りの危なさが改めてわかった。
 - ・ 傘さし運転は危ないと思った。
- 21 3学期、交通安全教育で何か希望などがあれば自由に書きなさい。
- ・ 点検をしてもらいた。
 - ・ 自転車の点検の仕方を教えてもらいたい。
 - ・ 標識の意味を知りたい。
- 22 今年度、本校では事故が多発していますが、事故を減らすためにどうしたら良いか、あなたの意見を書きなさい。
- ・ 一人ひとりが交通安全を心がける。
 - ・ 交通安全のルールをしっかりと理解して守る。
 - ・ 時間に余裕を持って、登校する。
 - ・ スピードを出しすぎないようにする。
 - ・ 常に周りに注意をする。
 - ・ 事故の多いところ、危ないところの地図を配布する。
 - ・ 交通安全への意識を高めるために、事故防止等のDVDを見せる授業を増やす。
 - ・ 一人ひとりが責任を持って、自転車に乗る。